

調査結果概要

【回答者属性】

(1) 国籍・地域

回収結果は表1のとおりとなりました。この先に述べる本調査の結果は、これらの属性のうち回答者の国籍・地域別に分析したものです。

表1 回答者の国籍・地域

	人数	割合
韓国	331人	31.9%
中国	166人	16.0%
香港	123人	11.8%
タイ	117人	11.3%
台湾	109人	10.5%
東南アジア	120人	11.6%
欧州	35人	3.4%
米州	11人	1.1%
その他	26人	2.5%
合計	1,038人	100.0%

(2) 性別・年齢

性別は、全体では「男性」が55.7%、女性が43.2%となっています。(図1)

年齢は、全体では「30歳代」の割合が最も高く27.3%、次いで「40歳代」20.9%、「50歳代」16.0%となっています。(図2)

図1 性別

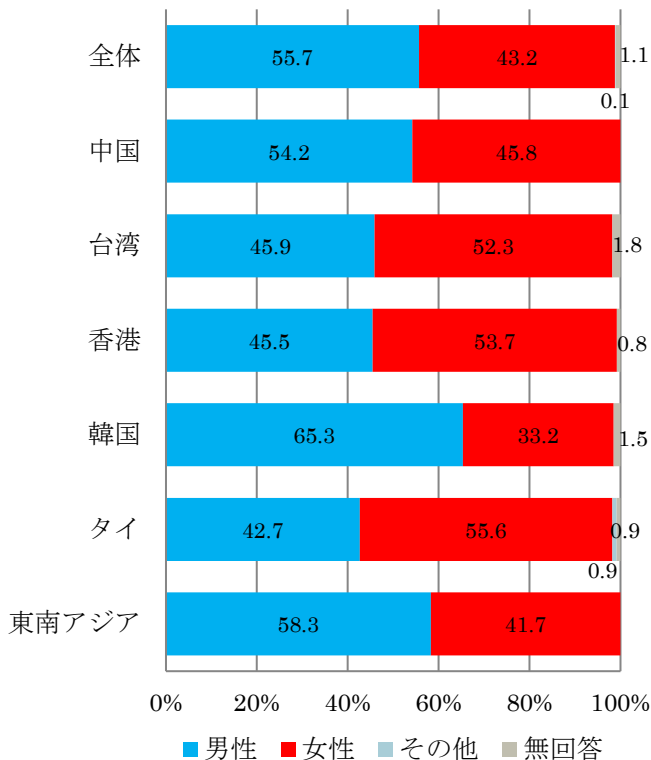
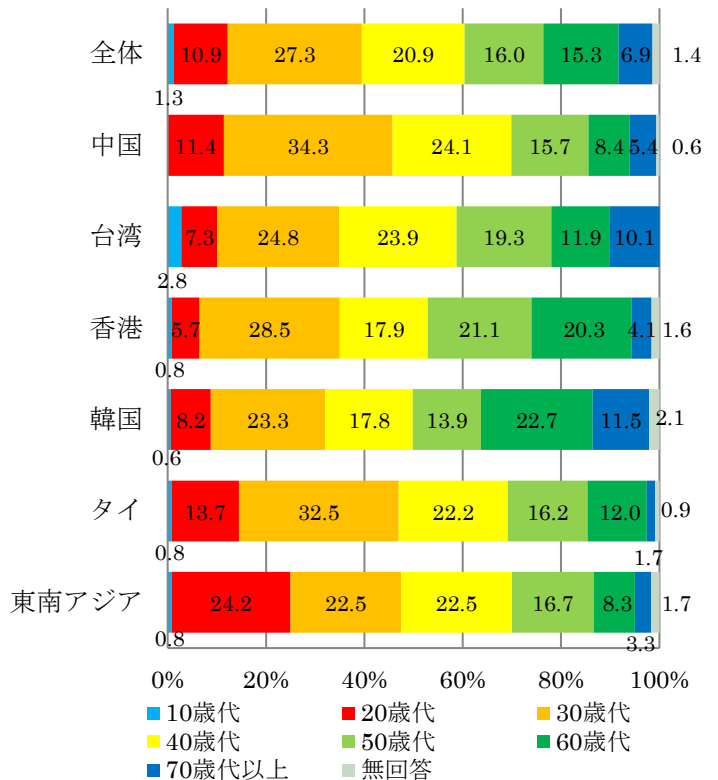


図2 年齢



【調査項目別 調査結果】

1 来日回数/愛知県への来訪回数

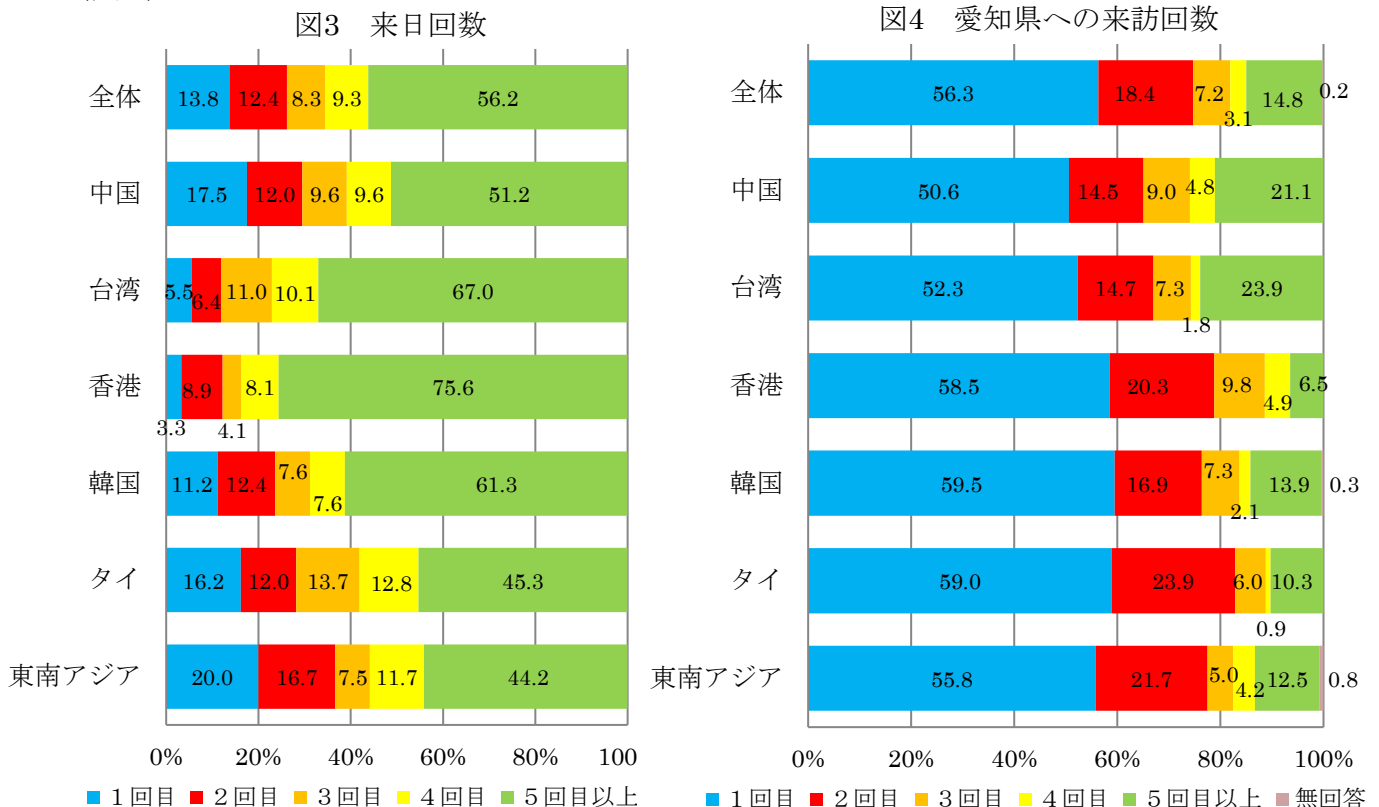
来日回数は、「5回目以上」が56.2%と最も多く、次いで「1回目」が13.8%、「2回目」が12.4%、「4回目」が9.3%、「3回目」が8.3%となっています。

国籍別でみると、国籍に関係なく「5回目以上」の占める割合が最も高くなっており、なかでも香港、台湾、韓国では6割を超えています。一方、タイでは4割半ばとなっています。(図3)

愛知県への来訪回数は、「1回目」が56.3%と最も多く、次いで「2回目」が18.4%、「5回目以上」が14.8%、「3回目」が7.2%、「4回目」が3.1%となっています。

国籍別にみると、国籍に関係なく「1回目」の占める割合が最も高くなっていきます。

(図4)

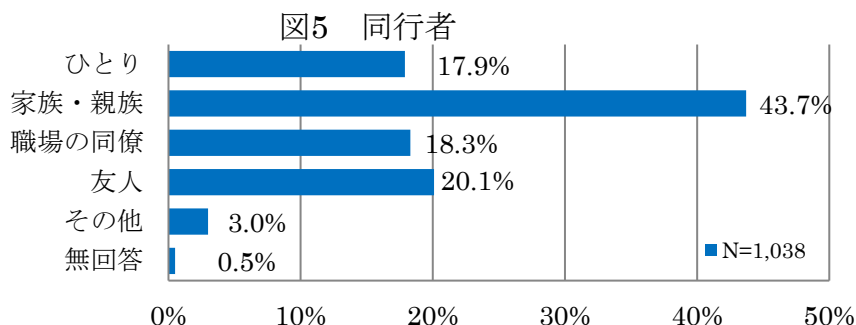


2 同行者【複数回答】

同行者として最も多い回答は、「家族・親族」の43.7%で、次いで「友人」が20.1%、「職場の同僚」が18.3%、「ひとり」が17.9%となっています。(図5)

国籍別にみると、国籍に関係なく「家族・親族」の占める割合が最も高くなっています。また、「ひとり」と回答した人は、中国で3割弱となっています。(調査結果報告書 P.10

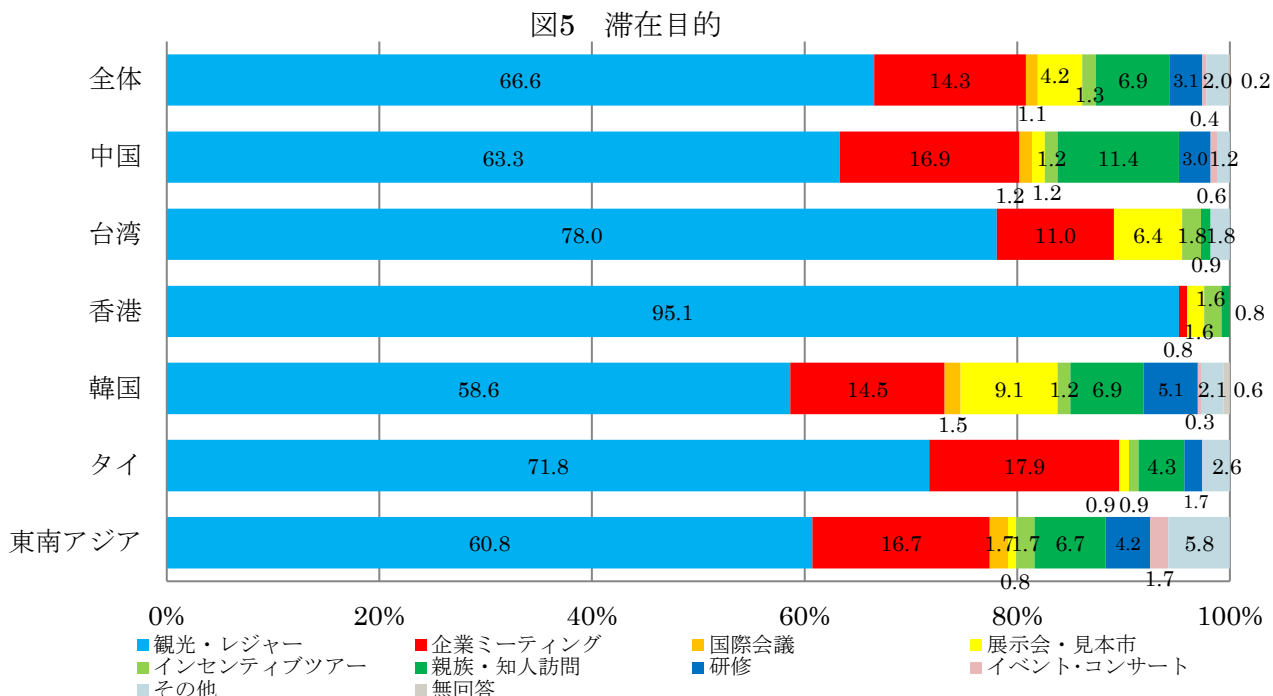
【国籍別】参照)



3 滞在目的

全体で最も多い回答は「観光・レジャー」が66.6%と最も多く、次いで「企業ミーティング」が14.3%となっています。

国籍別にみると、国籍に関係なく「観光・レジャー」の占める割合が最も高くなっており、なかでも香港では9割を超えています。(図5)



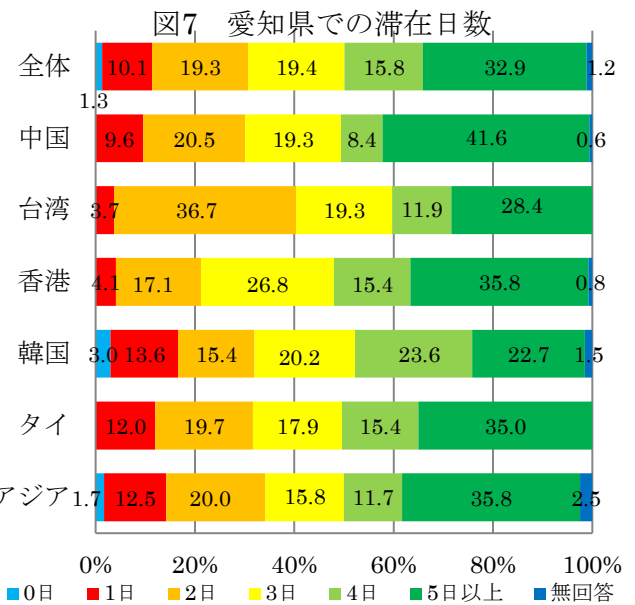
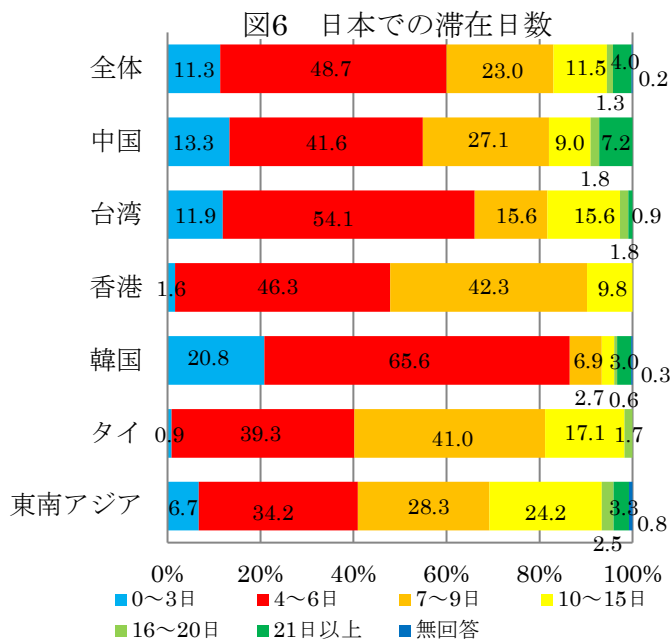
4 滞在日数

日本での滞在日数は、「4～6日」が48.7%と最も多く、次いで「7～9日」が23.0%、「10～15日」が11.5%、「0～3日」が11.3%となっており、平均滞在日数は8.24日となっています。(図6)

国籍別にみると、中国が9.31日と最も多く、次いでタイが8.70日、韓国が7.13日となっています。(調査結果報告書P.14【国籍別】参照)

愛知県での滞在日数は、「5日以上」が32.9%と最も多く、次いで「3日」が19.4%、「2日」が19.3%、「4日」が15.8%となっており、平均滞在日数は5.28日となっています。(図7)

国籍別にみると、中国が6.59日と最も多く、次いでタイが5.53日、韓国が5.11日となっています。一方で台湾では3.65日と最も少なくなっています。(調査結果報告書P.15【国籍別】参照)

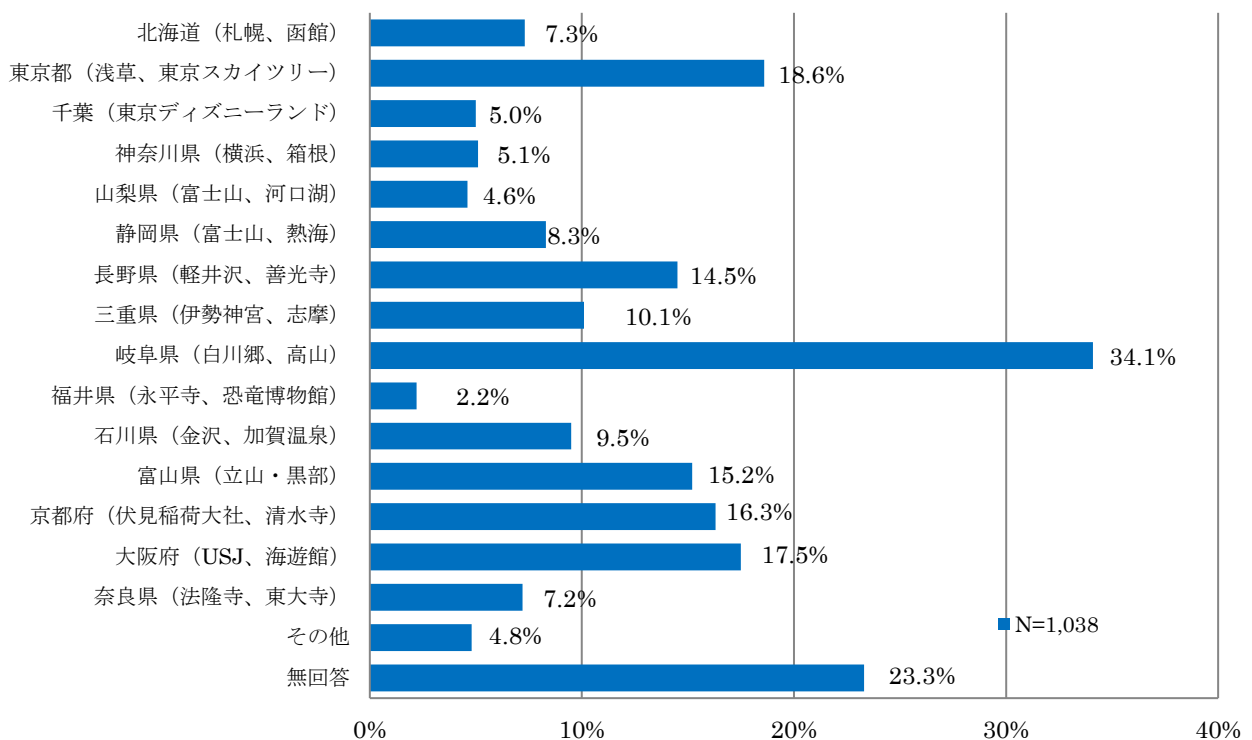


5 愛知県以外で訪問した都道府県【複数回答】

愛知県以外で訪れた場所は、「岐阜県（白川郷、高山）」が34.1%と最も多く、次いで「東京都（浅草、東京スカイツリー）」が18.6%、「大阪府（USJ、海遊館）」が17.5%、「京都府（伏見稲荷大社、清水寺）」が16.3%、「富山県（立山・黒部）」が15.2%となっています。（図8）

国籍別にみると、国籍に関係なく「岐阜県（白川郷、高山）」の占める割合が最も高くなっています。また、台湾、タイでは「長野県（軽井沢、善光寺）」が、台湾、韓国では「富山県（立山・黒部）」が、香港では「石川県（金沢、加賀温泉）」が、タイでは「東京（浅草、東京スカイツリー）」の占める割合が高くなっています。（調査結果報告書 P.18【国籍別】参照）

図8 愛知県以外の訪問先

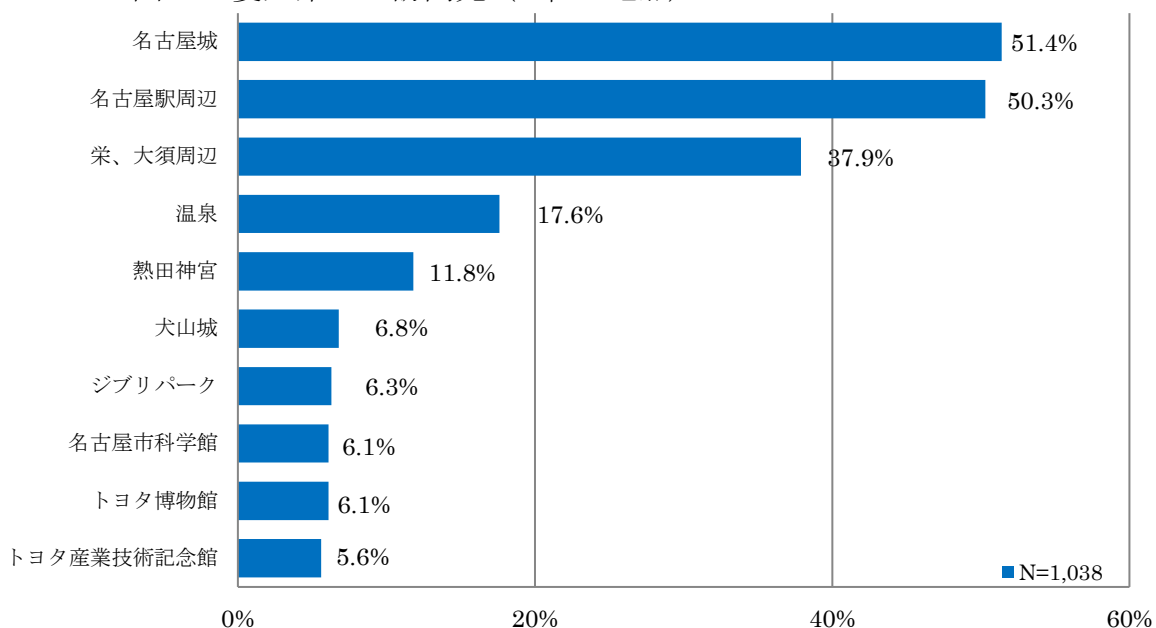


6 愛知県での訪問先（観光地）【複数回答】

愛知県内で訪れた場所は、「名古屋城」が51.4%と最も多く、次いで「名古屋駅周辺」が50.3%、「栄、大須周辺」が37.9%、「温泉」が17.6%、「熱田神宮」が11.8%となっています。（図10）

国籍別にみると、国籍に関係なく「名古屋城」「名古屋駅周辺」「栄、大須周辺」が上位3項目としてあげられています。また、「温泉」と回答した人は、香港で3割強となっています。（調査結果報告書P.20【国籍別】参照）

図10 愛知県での訪問先（上位10地点）

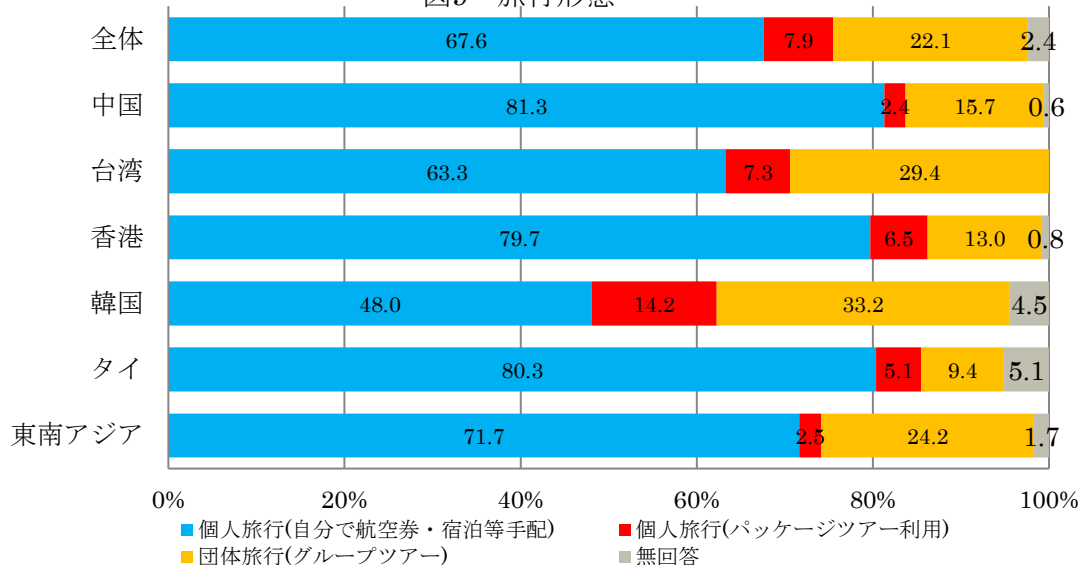


7 旅行形態

今回の旅行形態は、「個人旅行（自分で航空券・宿泊等手配）」が67.6%と最も多く、次いで「団体旅行（グループツアー）」が22.1%、「個人旅行（パッケージツアー利用）」が7.9%となっています。

国籍別にみると、国籍に関係なく「個人旅行（自分で航空券・宿泊等手配）」の占める割合が最も高くなっており、なかでも中国、タイ、香港では約8割を占めています。また、「団体旅行（グループツアー）」と回答した人は、韓国、台湾で3割前後を占めています。（図9）

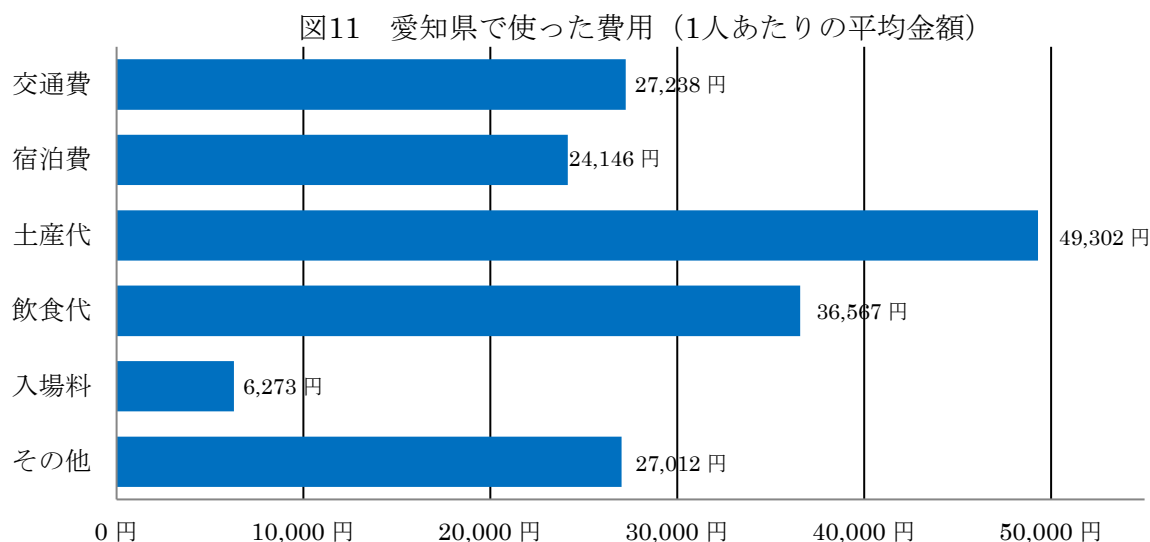
図9 旅行形態



8 愛知県で使った費用

愛知県内で使った費用の1人あたりの平均額は、「土産代」が49,302円と最も高く、次いで「飲食代」が36,567円、「交通費」が27,238円となっています。(図11)

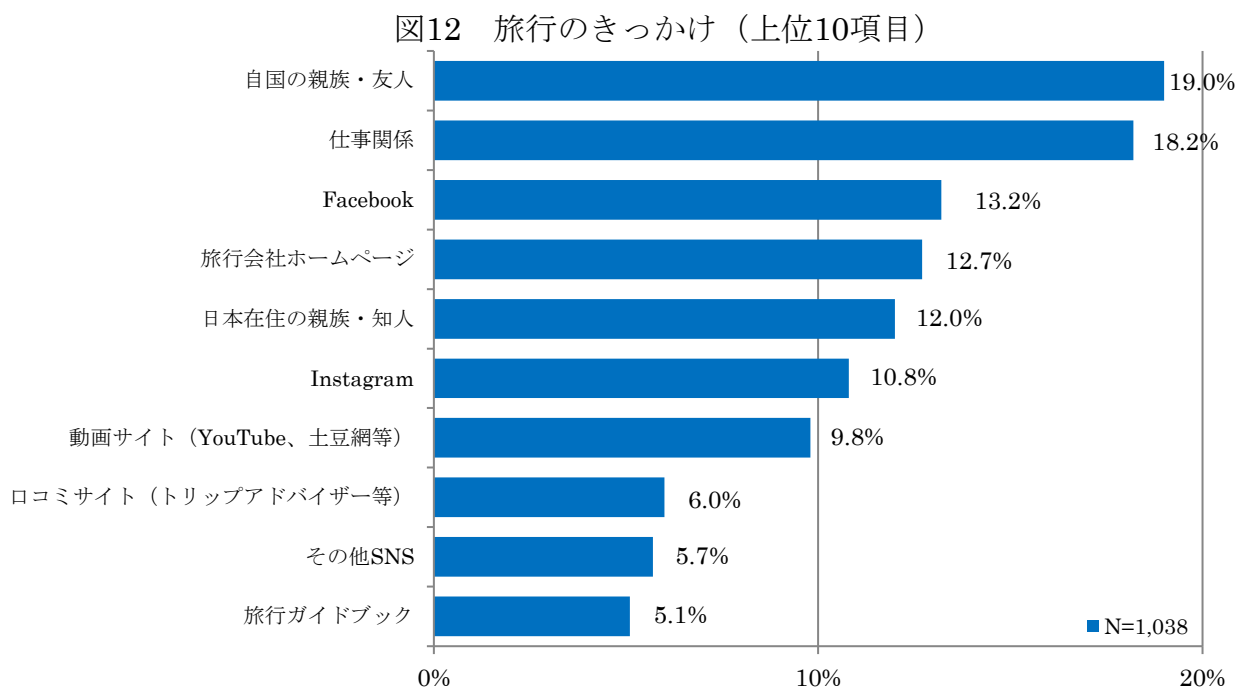
国籍別にみると、中国、台湾、香港、韓国では「土産代」が最も高く、なかでも中国、香港では、約7~8万円となっています。タイでは「交通費」が最も高くなっています。(調査結果報告書P.27【国籍別】参照)



9 愛知県への旅行のきっかけ【複数回答】

愛知県への旅行のきっかけは、「自国の親族・友人」が19.0%と最も多く、次いで「仕事関係」が18.2%、「Facebook」が13.2%、「旅行会社ホームページ」が12.7%、「日本在住の親族・知人」が12.0%、「Instagram」が10.8%となっています。(図12)

国籍別にみると、中国では「日本在住の親族・知人」、台湾、タイでは「Facebook」、韓国では「仕事関係」、香港では「Facebook」「自国の親族・友人」の占める割合が最も高くなっています。(調査結果報告書P.29【国籍別】参照)

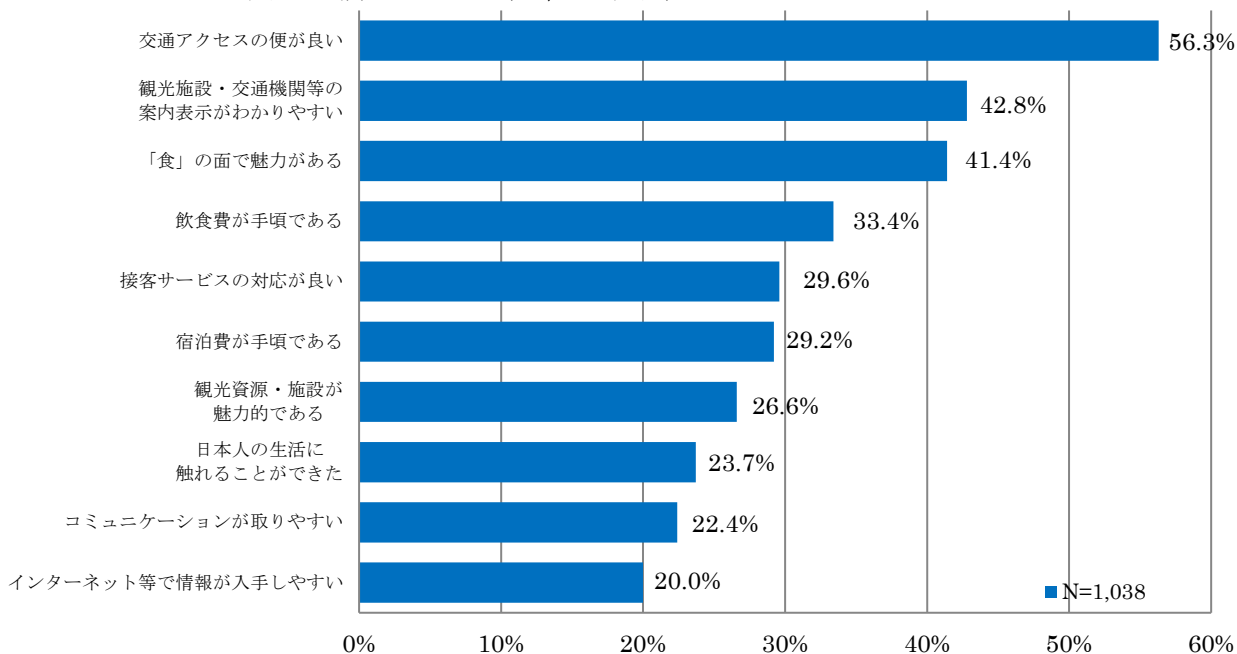


10 満足した点【複数回答】

愛知県を観光して満足した点は、「交通アクセスの便が良い」が56.3%と最も多く、次いで「観光施設・交通機関等の案内表示がわかりやすい」が42.8%、「食」の面で魅力がある」が41.4%、「飲食費が手頃である」が33.4%となっています。(図13)

国籍別にみると、中国、香港、タイでは「観光施設・交通機関等の案内表示がわかりやすい」「交通アクセスの便が良い」が上位2項目としてあげられています。また、台湾では「交通アクセスの便が良い」「接客サービスの対応が良い」、韓国では「交通アクセスの便が良い」「食」の面で魅力がある」が上位項目としてあげられています。(調査結果報告書 P.30【国籍別】参照)

図13 満足した点 (上位10項目)

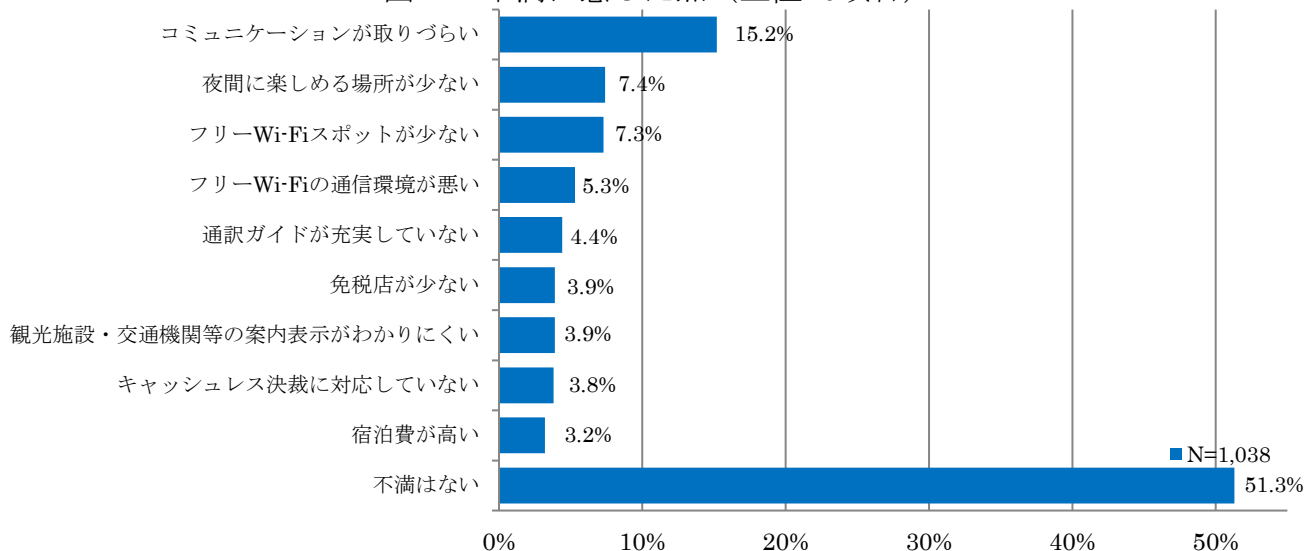


11 不満に感じた点

愛知県を観光して不満に感じた点は、「不満はない」が51.3%と最も多くなっています。

一方で、不満を感じた点で最も多いのは「コミュニケーションが取りづらい」が15.2%となっています。(図14)

図14 不満に感じた点 (上位10項目)

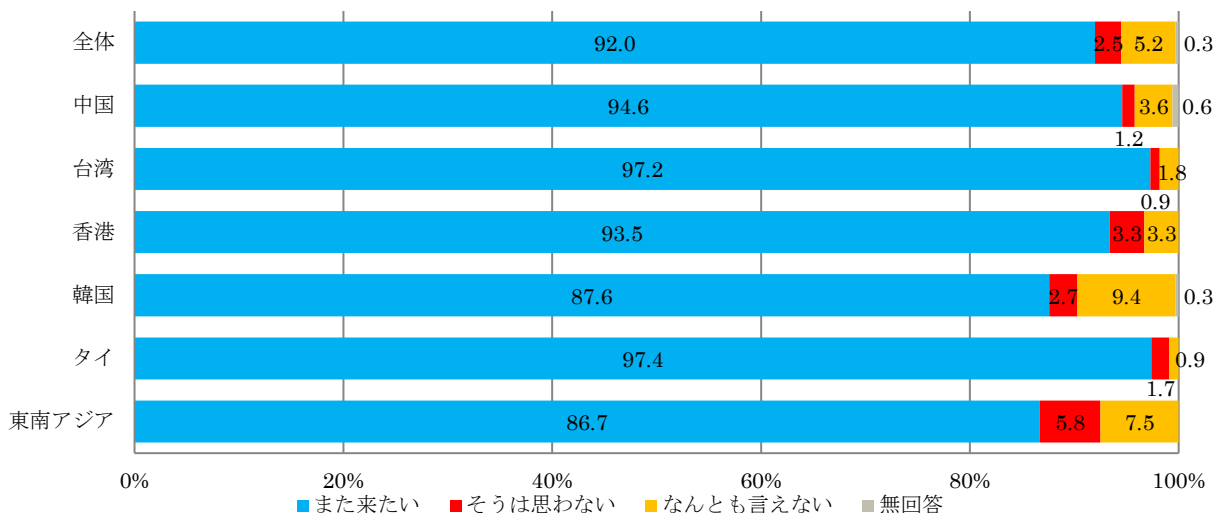


12 再来訪意向

愛知県への再来訪意向は、「また来たい」が92.0%と圧倒的に多くなっています。一方で、「そうは思わない」は2.5%とわずかとなっており、満足度の高さと比例して再来訪意向も非常に高くなっています。

国籍別にみると、国籍に関係なく「また来たい」人が9割前後を占めており、再来訪意向は高くなっています。(図15)

図15 再来訪意向

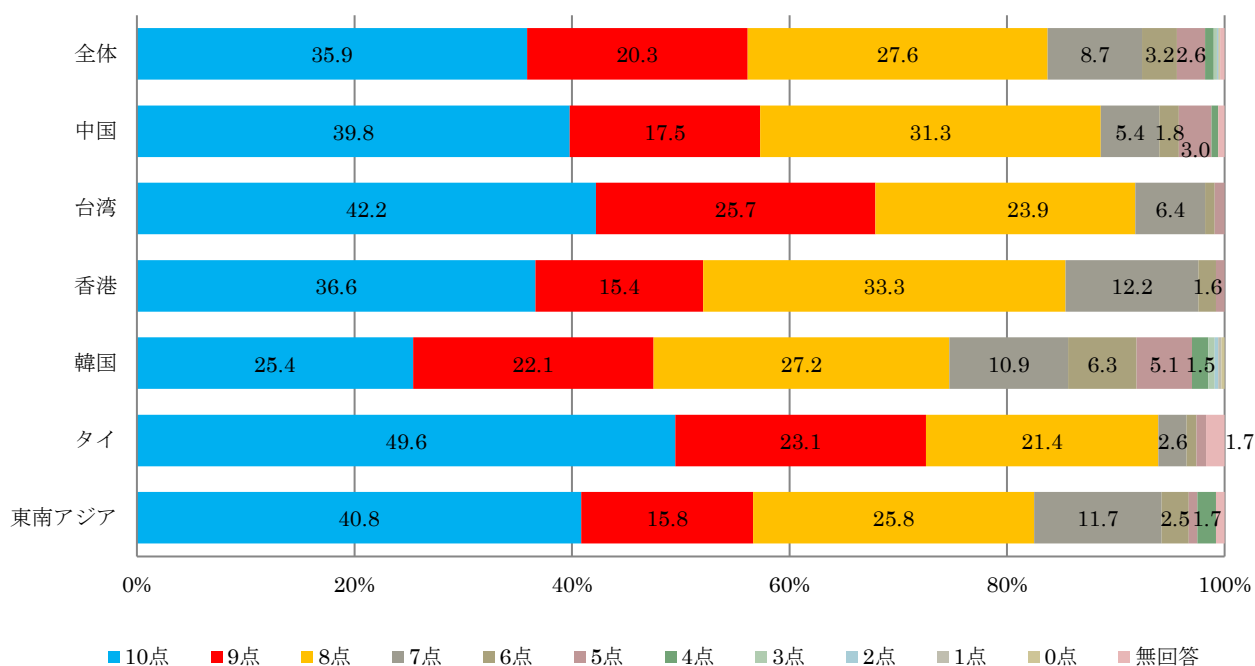


13 推奨意向

愛知県での観光を友人や同僚に薦める可能性は、「10点」が35.9%と最も多く、次いで「8点」が27.6%、「9点」が20.3%となっており、「9点以上」で6割弱を占めています。(図16)

国籍別にみると、韓国を除いた国では「10点」が最も多くなっており、なかでもタイでは約5割を占めています。

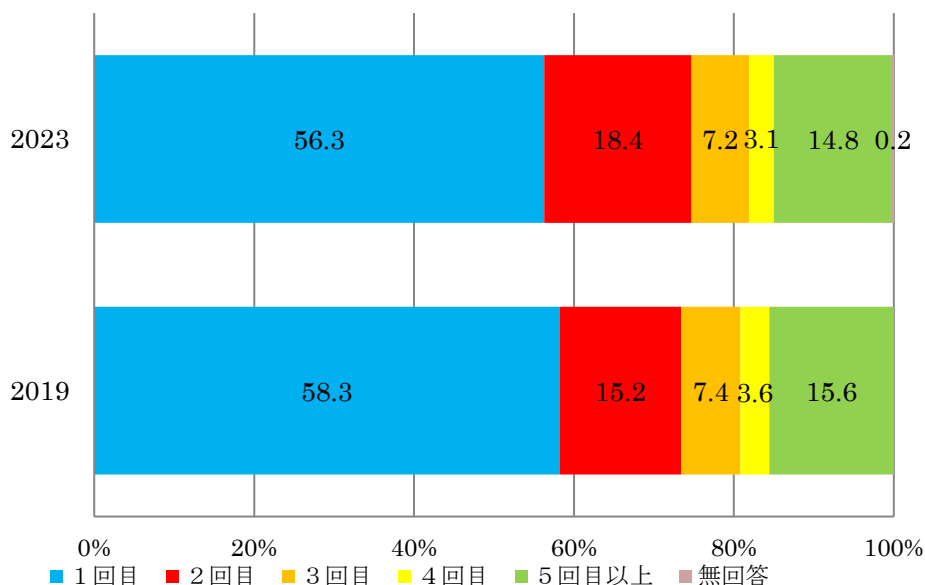
図16 推奨意向 (点数評価) ※1.0未満の数値は表示していない



前回調査結果との比較

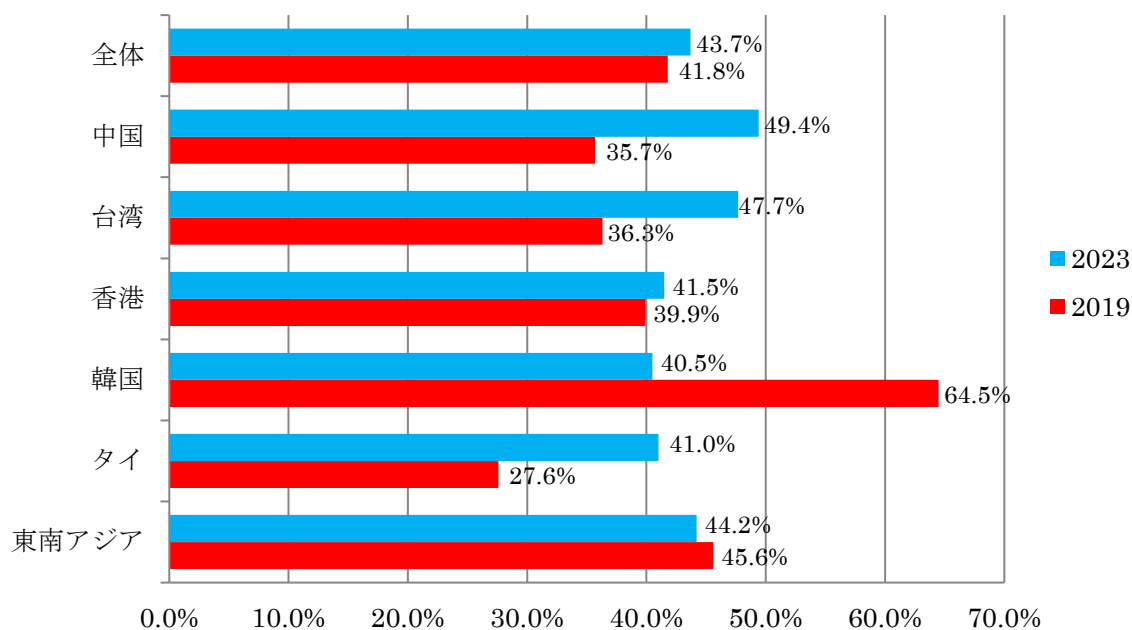
- 愛知県への訪問回数については、前回調査の2019年より「2回目」と回答した人の割合が増加し、「2回目」以外の回答は減少していますが、傾向としての大きな変化はありませんでした。

愛知県への来訪回数



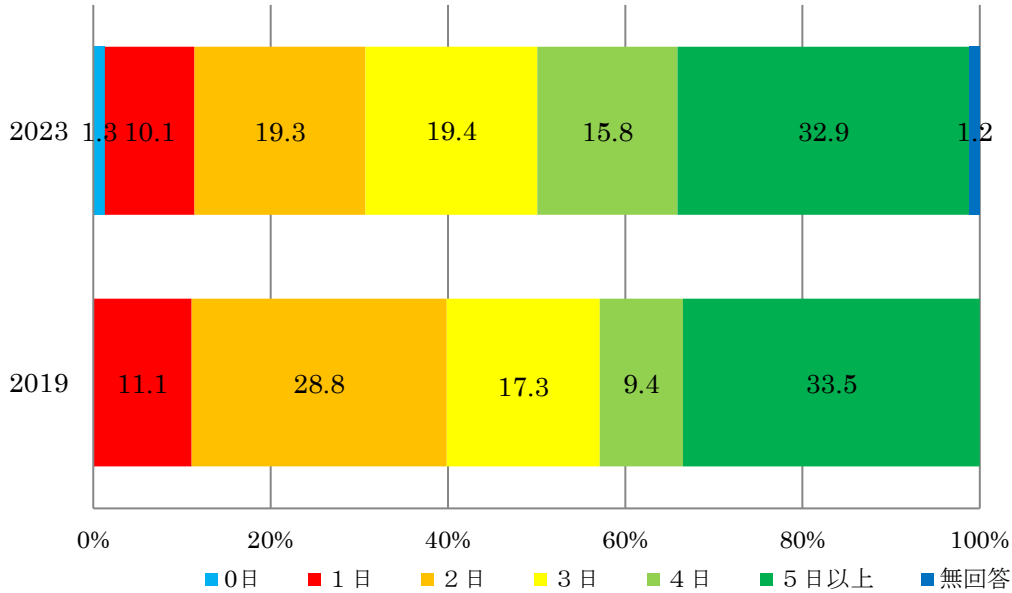
- リピーターの割合では、中国、タイ、台湾、香港が増加した一方、韓国は大きく低下しました。中国、台湾では約半数が2回目以上と回答しました。

リピーター率



- 愛知県での滞在日数については、前回調査の2019年より、大きな変化はないものの、その中でも特に「2日」、と回答した人の割合が減り、「4日」と回答した人の割合が増えています。

愛知県での滞在日数



- 愛知県以外の訪問先を比較すると、前回調査の2019年では、ゴールデンルート（※1）の人気の表れていたが、2023年では、東南アジア以外で岐阜が1位を取り、愛知県と岐阜県を併せて訪れる人がより顕著となりました。国籍別でみると、台湾、香港は昇龍道（※2）に沿った訪問（観光）がなされました。

※1 外国人観光客が訪れる日本の王道観光ルートで、東京・箱根や富士山周辺・名古屋・京都・大阪などを巡る観光周遊ルートのこと。

※2 中部地方の愛知県・岐阜県・富山県・石川県を南から北へ縦断する観光ルート。

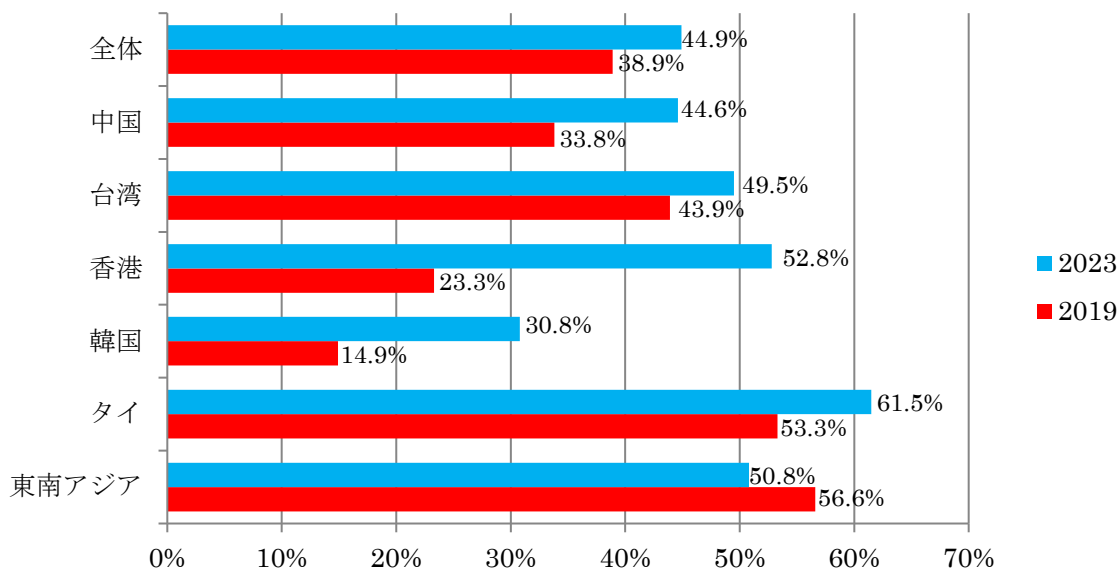
愛知県以外の訪問先

年	1位	2位	3位	年	1位	2位	3位
2019	京都府	岐阜県	東京都	2023	岐阜県	東京都	大阪府
全体	京都府	大阪府	東京都	中国	岐阜県	大阪府	京都府
中国	京都府	大阪府	東京都	台湾	岐阜県	長野県	富山県
台湾	岐阜県	石川県	京都府	香港	岐阜県	石川県	富山県
香港	岐阜県	石川県	京都府	韓国	岐阜県	富山県	東京都
韓国	東京都	大阪府	京都府	タイ	岐阜県	長野県	東京都
タイ	大阪府	岐阜県	京都府	東南アジア	東京都	大阪府	
東南アジア	東京都	岐阜県	京都府		京都府		

- 満足度における「非常に満足」と回答した人の割合は、前回調査の2019年の38.9%から44.9%に増加しました。

国籍別に見ると、東南アジアでは昨年より低くなった一方、それ以外では満足度が伸びています。

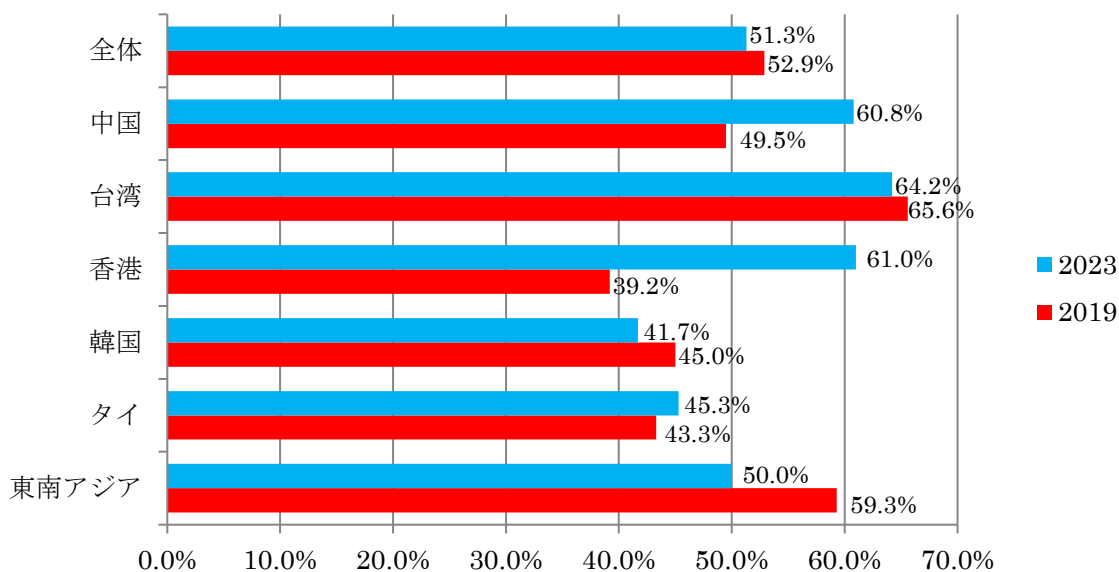
非常に満足の割合



- 愛知県での観光において不満を感じた点を聞いた際に、「不満はない」と回答した人の割合は、前回調査の2019年の52.9%から51.3%に減少しました。

国籍別に比較すると、中国、香港で「不満はない」と回答した人の割合が大きく増加したものの、東南アジアで比較的大きく減少しました。

不満はないと回答した割合



- 不満な点で回答が多かった上位5項目を比較すると、前回調査の2019年の上位3項目は継続して上位に位置しております。一方で、前回7位であった「夜間に楽しめる場所が少ない」が2位、前回8位であった「通訳ガイドが充実していない」が5位と上位に上がっています。

	2019	2023	2019年比 (カッコ内は前年 順位)
1位	コミュニケーションが取りづらい	コミュニケーションが取りづらい	→(1)
2位	フリーWi-Fiスポットが少ない	夜間に楽しめる場所が少ない	↑(7)
3位	フリーWi-Fiの通信環境が悪い	フリーWi-Fiスポットが少ない	↘(2)
4位	宿泊費が高い	フリーWi-Fiの通信環境が悪い	↘(3)
5位	キャッシュレス決済に対応していない	通訳ガイドが充実していない	↑(8)